

株式会社クライムでの学びの記録 ～夢をカタチに～



令和5年度 長期社会体験研修員 齋藤 早永

【研修先企業：株式会社クライム】

研修先企業について

企業概要



経営理念

理念

私たちクライムは、従業員の幸福を最大の目的とします。幸福でモチベーションの高い従業員だからこそ、お客様に最大のサービスを提供できるものと考えています。

ミッション

私たちクライムは、ICTを通して人々の生活と社会を便利にし、世界中のすべての人を幸福にすることを使命とします。

ビジョン

私たちクライムは、ICT分野において所属する地域でナンバーワンを目指し、絶えず進化するベンチャー企業であり続けます。

会社概要

会社名	株式会社 クライム CLIMB CO.,LTD.
本社住所	〒371-0024 群馬県前橋市表町2-30-8アクエル前橋4階
TEL/FAX	TEL 027-223-5001 FAX 027-289-8655
設立	平成元年4月1日
資本金	4,900万円
社員数	社員 234名 委託社員 270名 合計 504名 (クライム単体2023/6/1現在)
事業所	○東京事業所 東京都千代田区大手町2-6-4常盤橋タワー11階 ○群馬事業所(本社) 群馬県前橋市表町2-30-8 アクエル前橋4階 ○大阪事業所 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル10階 ○名古屋事業所 愛知県名古屋市中村区太閤1-20-13秀幸ビル5階

年間研修計画

4月 5月 6月	<ul style="list-style-type: none">新入社員研修受講 (システム開発に必要な基礎知識習得)
7月 8月 9月	<ul style="list-style-type: none">実際のプロジェクトにおけるプログラミングとデバッグ顧客提案資料作成のためのマーケティングや製品調査の補助
10月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none">プロジェクトメンバとして一つの機能を担当し、詳細設計から単体テストまでを実施顧客提案資料作成のためのマーケティングや製品調査の補助
1月 2月 3月	<ul style="list-style-type: none">プロジェクトメンバとして一つの機能を担当し、詳細設計から結合テストまでを実施顧客提案資料作成のためのマーケティングや製品調査の補助
学校教育との関わり	システム開発における実際の業務に関わることで、システムエンジニアに必要とされる能力を理解し、今後の学校教育に生かすことができる。

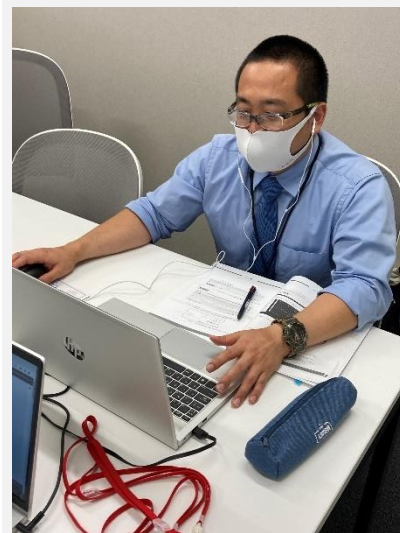
主な研修内容(4月～6月)



4月 在宅勤務

会社に4月3日出社し、入社式を見学しました。まず初めに驚いたことは、社員の方々の座る席が決まっていないということでした。学校現場と職場の雰囲気の違いに、戸惑いました。

オンラインによる研修を受講するまでは不安でいっぱいでしたが、研修時は会話も多く、楽しく研修を受けられました。



5月 スキルアップ

研修内容も難しくなり、JAVA、HTML、SQLなどのコーディングを毎日行いました。プログラムの作成にも慣れ、プログラミングスキルの向上を感じました（写真：入社時における研修の様子）。

総合教育センターで研修を受けている間も、新入社員研修は実施されているため、遅れを取り戻すために、自宅でも必死に勉強しました。



6月 成果報告

チームごとにオリジナルのシステムを開発する演習を行いました。具体的には、実際のシステム開発の工程に沿って要件定義から結合テストまでを1カ月かけて行いました。最終的にチームごとに作成したオリジナルシステムのプレゼンテーションを行いました。

新入社員の方々とともに、粘り強く開発を行いました。



振り返り

この3カ月は教員生活では得られない貴重な経験をすることができました。

プログラミングスキルを高めること以外にも、システムエンジニアは、コミュニケーション力や物事の本質を見抜く力、分からないことはその場で解決するなどの『最善の努力をする姿勢』が必要だと理解できました。



主な研修内容(7月～9月)



7月 通勤開始

今月からは電車通勤になりました。前橋駅を降りて徒歩1分の本社までの通勤です。

最初に行ったのは社内の開発環境のデータが蓄積されているバージョン管理システムの移行作業でした。

具体的には、Windows OSのサーバからLinuxベースのUbuntu OSのサーバへのシステム移行作業で、最初は分からないことばかりでした。



使用したPC

8月 サーバ設定①

クライアントの使用しているサーバの環境調査を行いました。具体的には、現行の古いバージョンのDB(データベース)サーバに、新たに準備した新しいバージョンのDBサーバをリンクさせるという作業でした。

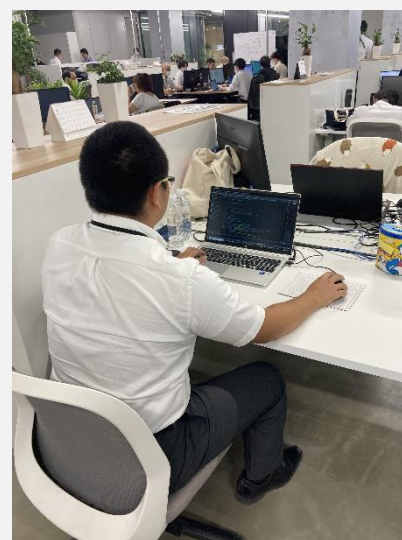
初めは分からないことばかりでしたが、企業担当の方のアドバイスにより、一通りの業務を処理することができました。



9月 サーバ設定②

8月から9月後半にかけてはAP(アプリケーション)サーバの設定作業を行いました。現在使用しているサーバによるOSのサポートが10月で終了するため、新しいOSで現行システムの起動検証と、それを確かめるためのテスト環境の構築を行いました。

この業務を行うことでシステムの土台部分の理解が深まりました。



振り返り

7月初めは電車通勤や、座席の指定がないことなど、新たな環境に戸惑いましたが、業務を行うにつれて慣れることができました。

この3カ月はアプリケーションが動作する土台になるサーバや、ネットワークなどのインフラ関係の業務に関わりました。教科書だけでは分からない知識を、システムエンジニアとして経験しました。

主な研修内容(10月～12月)



10月 授業実践

所属校で実践授業を行いました。働く上で大切な資質・能力について、生徒自身が考えました。その後、クライム社員の方にオンラインで授業に参加いただきました。実際のシステム開発の現場で必要とされる資質・能力についてアドバイスをいただきました。短い時間でしたが、生徒からの質問もあり、有意義な授業実践になりました。



レイアウト調整した画面



開発の様子

11月 開発業務

実際の開発業務を携わりました。具体的な業務は、データベースから値を取得して画面に表示させる仕組みのコーディングや画面のレイアウト調整、正しい値がシステム上に表示されているかのテストなどを行いました。生産性を下げないように開発を進めるのが難しく、何度もソースコードの修正を行いました。



12月 全社研修会

クライムの全社研修会に参加しました。

一橋ビジネススクール寄付講座競争戦略特任教授の楠木建様による講演を聴講しました。「イノベーションの本質」というテーマでした。イノベーションとは、これまでの価値観を変化させるほどの影響力をもつ物やシステムが世に登場した時に起こるものであることを理解しました。



研修後の懇親会の様子

振り返り

10月に行ったキャリア教育実践では、クライム社員の方のご協力により生徒にとって貴重な経験となりました。改めて企業と学校が連携することの重要性を感じました。

11月から関わらせていただいた開発業務は、難易度が高く、大変でしたが、学びの多い時間となりました(写真：12月に行われた全社研修会後の懇親会の様子)。

主な研修内容(1月～3月)



1月 新年挨拶

年末には大掃除があり、年始最初の勤務では、オンラインでの事業所会議で金井社長より年頭挨拶が行われました。

新年の事業の計画や会社の方針が確認され、企業一丸となって業務を遂行する強い意志を感じました（写真：クライムの年頭恒例行事である事業繁栄を祈願したダルマの目入れ）。



2月 教育フェスタ

クライムでの研修で得たことやキャリア教育実践での取組を教育フェスタで発表しました。この一年間の研修を発表することで、今まで学んできたことを整理でき、改めて多くの貴重な経験をしたことを実感しました。

多くの方々に研修での取組を伝えることができました。

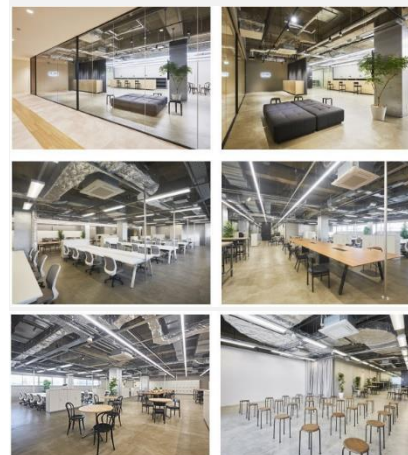
3月 感謝

今月でクライムでの研修は終了となりました。

研修終了直前までシステム開発に携わることができ、企業担当者の長谷川様をはじめとする多くの社員の方々にお世話になりました。

この一年間で学ばせていただいたことを来年度からの教育に生かすことで、お世話になった方々へ恩返ししていきたいと思えます。

夢をカタチにする企業、CLIMB



振り返り

一年間を振り返ると本当にあっという間に過ぎたように思います。まるで別の人生を歩んでいるかの夢のような時間でした。

クライムがICTを通して従業員と世界中の人々を幸せにすることを目的としているように、私は教育を通して一人でも多くの人を幸せにしたいと思えました。研修に関わっていただいた全ての人に感謝申し上げます。

センター研修と授業実践

センター研修

4月 キャリア教育研修

キャリア教育の意義と背景について、理解を深めることができました。ここで学んだ基礎的・汎用的能力を、今後どのように成長させるかという視点で実践授業の取組を検討しました。



10月 株式会社白井屋ホテル訪問研修

株式会社白井屋ホテルの矢村代表に、マーケティングや組織についてお話を伺い、その後館内を案内いただきました。

普段は経験できない貴重な経験をすることができました。



10月 実践協力校の授業実践検討会

企業での研修で学んだことを生かしながら、生徒の実態に合った実践となるよう工夫しました。

検討会でいただいたご指摘を参考に授業展開を修正し、当日は納得のいく授業実践を行うことができました。

授業のねらい

- ①働く上で必要な資質・能力について考える。
- ②資質・能力をより伸ばすために、日頃の学校生活でどんなことを頑張ればよいか考える。
- ③将来のことを考えるきっかけをつくる

実践協力校での授業実践

対象：電気情報科2年生（39名）

特別活動（2時間）

「職業別で考える資質・能力

～将来を考えるきっかけづくり～

ねらい

将来を考えるきっかけをつくる

授業の流れ・様子

導入

- ①研修企業の紹介
- ②本時のねらいの提示

展開1

- ③個人演習（社会に必要な資質・能力）
- ④グループ演習→発表

展開2

- ⑤CLIMB社員の方々のお話
- ⑥自分の将来について

まとめ

- ⑦個人の考えをクラスで共有
- ⑧振り返りアンケート



振り返り

授業実践では実際にクライムで働いている2名の社員にご協力いただきました。業務のことや、働くことについてのお話を伺うことで、生徒は将来について、興味や関心を高めることができました。

授業の最後には、振り返りを通して、生徒は自分の将来と向き合うことができました。